

# ほんべつ



いいひと いいまち いきいき ほんべつ

平成22年度各賞が決まりました

## 2 ● 本別町スポーツ賞

4 ● 本別町体育協会創立50周年

## 6 ● 「秋」芸術・文化・スポーツ

9 ● 本別町農産物加工施設あり方検討会  
どう生かす加工施設

10 ● 秋の交通安全運動  
国民年金コーナー

12 ● 防自分たちのまちは自分たちで守る

14 ● 落語の授業  
秋の本別公園を歩こう

16 ● 取り組んでいますか？ 口腔ケア

18 ● 地方公共団体の財政の健全化に関する法律  
に基づく健全化判断比率等を公表します

20 ● 地上デジタル放送完全移行  
2011年(平成23年)7月24日まであと265日

22 ● 第六次

本別町  
総合計画  
Part18

ハロー勇足小学校……………23  
マイタウン……………24  
みんなの健康・銀河ホットライン……………26  
ご寄付ありがとうございます……………27  
本のある暮らし・わたしたちのまち……………28



### 大きく育て!

「第10回本別町の水源地の森林を造り育てる集い」(東部十勝森林管理署主催)が10月15日、水源地の本別沢で実施されました。仙美里小学校(佐々木修一校長)4年~6年生19人など約100人が、赤エゾ松の枝打ちとオオバヤナギ、アオダモ、ヤチダモ100本の植樹をしました。

# 町スポーツ賞に大和田 真さん

町スポーツ奨励賞・文化奨励賞に3個人・2団体

今年度のスポーツ賞・スポーツ奨励賞、文化奨励賞が十月十九日の町教育委員会で決定しました。受賞者は次の通りです。

## スポーツ賞

〔優秀選手〕

大和田 真さん

(美里別西上)



第六十一回北海道高等学校スケート競技選手権大会 男子1000m 優勝  
第五十八回全国高校スケート競技選手権大会 男子1000m 6位  
第五十九回全国高校スケート競技選手権大会 男子1000m 6位  
第三十三回全日本ジュニア選手権大会 スプリント部門 総合5位

## スポーツ奨励賞

団体

〔優秀選手〕

北海道本別高等学校弓道部(女子)

(中川望都子顧問・弥生町)

平成二十一年度北海道高等学校弓道選抜大会十勝支部大会 団体戦女子 準優勝

平成二十二年度第四十五回北海道高等学校弓道競技選手権大会十勝支部大会 団体戦女子 準優勝

〔出場者〕  
部長：鹿島玲奈  
部員：二年Ⅱ矢野華奈子・矢野万里菜・加納静・水野重紀穂・福谷花純・川橋春菜

## 文化奨励賞

個人

青山ケイ子さん

(錦町)

昭和五十三年に藤恵会に入会、昭和五十八年に藤舞会に移籍し、以来今まで日本の伝統文化である日本舞踊の発展に努め、舞踊の向上と普及に尽力される。

また、本別町文化祭、舞踊祭などの文化事業への積極的な参加や老人ホームへの慰問など、社会活動にも取り組みられ広範囲に活躍する。

現在は、藤舞会の会長として会を取りまとめ、相互研さんを尊重した指導力を発揮し舞踊の発展に尽力されるなど、本町の文化振興に寄与した功績は誠に大きいものがある。

小坂 静男さん

(美里別西中)

昭和五十二年本別錦玉会に入会し、民謡、三味線の普及に献身的な活動を続けてきた。平成二十一年に会の名称を声友民謡会に改め、会長として会員の融和を図り、相互研さんを尊重した指導力を発揮し、日々活動を通じて邦楽文化の普及発展に尽力されている。

また、本別町文化祭、民謡三味線発表会などの文化事業に積極的に参加し、舞台芸能においては常に中心的な役割を果たすなど、その活動は高い評価を受け、本町の文化振興に寄与した功績は誠に大きいものがある。

前田 昌雄さん

(負籠一)

昭和五十四年に錦玉会本別支部に入会。昭和五十九年には本別町オフィ民謡会(のちの本別トイチンクラブ)を発足する。以来邦楽文化普及発展の大きな役割を担い、老人福祉施設や病院への慰問など福祉活動にも積極的に活動された。

日々技量の向上と努力を怠らず、本別町文化祭、民謡三味線発表会などの文化事業に積極的に参加し邦楽の向上と普及に尽力される。

団体

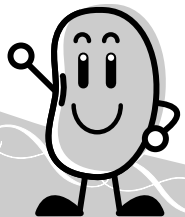
北海道本別高等学校吹奏楽部

(喜尾知美顧問・弥生町)  
(伊澤秀幸顧問)

第五十五回北海道吹奏楽コンクール帯広地区大会高等学校C編成の部で最高賞である金賞を受賞し、地区吹奏楽連盟の推薦を受け全道大会に出場する。

〔出場者〕  
指揮：喜尾知美  
部長：戸谷愛  
部員：三年Ⅱ阿蘇小夏・鈴木初雪・堀井沙友莉・吉田翔・阿彦恵・永田春香・濱名みどり  
二年Ⅱ秋田紀恵・木村紗矢香・湯山美紗・板垣汐美・高千和・瀬戸香菜子  
一年Ⅱ泉安莉沙・瀧澤奈七・長浜和奏・濱名真梨・古川千尋・阿蘇皐月

授賞式は11月3日(文化の日)  
午前10時から 中央公民館  
大ホールで行われます





# 本別町体育協会 創立五十周年記念式典



式辞を述べる大西光夫五十周年記念事業実行委員長

昭和三十五年五月に長谷川義信さんを初代会長に七団体で設立された本別町体育協会。それから半世紀という時が流れ、現在は、創立時から加盟している野球連盟やスケート協会などに加えサッカー協会やバドミントン協会などの二十一団体約千二百人が加盟する団体に成長しました。

この間、スポーツ講演会や教室の開催、オリンピック選手の出など、本町スポーツの振興と発展に寄与したほか、平成二年十月には、創立三十周年記念式典を開催し節目を祝いました。長い歴史を積み重ねてきた町体育協会は、この記念すべき日をスタートとし「町民皆スポーツ」を目指して、これからも町民のみなさんの健康と親ほくを幅広くみながら活動を続けていきます。



功労者の皆さん  
左から 飯居 力さん、森本永二さん、黒山久男さん

創立から五十年を迎えた本別町体育協会（大西光夫会長）の「記念式典ならびに祝賀会」（実行委員会主催）が十月十七日、中央公民館で開催されました。式典では、大西光夫五十周年記念事業実行委員長が「二十一加盟団体が一体となって、本町スポーツ振興の先頭に立つて進んでいきたい」とあいさつした後、同協会の会長、副会長として組織発展に尽力した三人の功労者を表彰。受賞者を代表して



祝賀会で談笑する出席者

## 記念式典ならびに祝賀会

飯居力（第三代会長）さんが「創立百年に向け、健康・スポーツ推進の町宣言を心に秘め、ますます発展することを願っています」とお礼を述べました。続いて、高橋正夫町長、方川一郎町議会議長らがお祝いの言葉を送りました。

式典終了後には、祝賀会が開かれ、出席した約百人はお酒を酌み交わしながら、思い出話に花を咲かせていました。

## オープニング セレモニー

記念式典のオープニングセレモニーとして、本別混成合唱団（大沼順子代表）が美しい歌声で本別町歌などを披露したほか、記念講演として、本町出身でスピードスケート五輪日本初の姉弟出場を果たした、野崎姉弟によるトークショーが実施されました。



野崎千春さん（左）と野崎貴裕さん（右）

## 記念講演

### 「野崎千春氏 野崎貴裕氏 トークショー」

目標を持つこと、あきらめないこと

トークショーは、大西光夫体育協会会長と北口義美スケート協会会長がコーディネーターとなり、野崎姉弟への質問形式で進められました。

「長野オリンピックの選手に選ばれたときの気持ちは」の質問に、千春さんは「名前が呼ばれるまでは不安だった」、貴裕さんは「心からほっとした」などと当時の心境を語ったほか、「子供たちへのスポーツ指導の心構え」についての質問には、お二人は「好きにさせることが大切で、人間形成が重要」と強調しました。最後に、本別町でスポーツをする子供たちへ、千春さんは「目標を持って楽しんで」、貴裕さんは「あきらめないで頑張って」とエールを送りました。

## インタビュー

平成十三年から本別町体育協会会長を務め、今年で会長就任十年目を迎えた大西光夫さんに、同協会五十周年を迎えた今の気持ちとこれからの展望などについてお聞きしました。

### 本別町体育協会が創立五十周年を迎えましたが

四代目会長として、諸先輩が築き上げてきた組織の伝統と実績を受け継ぎ、加盟団体と協力し、本町スポーツ振興の先頭に立ってまい進していかなければならないという気持ちでいっぱいです。

### これまでどんなことがありましたか

昭和五十六年の開町八十周年記念事業で全日本男子バレーボールチームが来町したことや平成十五年の全日本女子柔道の強化合宿の招致をはじめ、29年間に渡り世界トップレベルの日本人アスリートを招いて開催されたスポーツ講演会が思い起こされます。また、平成十年の大雨による利別川のはらんで河川敷の運動施設が水没し、その復旧作業に体育協会として貢献できたことや本別町出身の野崎姉弟が長野オリンピックのスピードスケート競技で活躍し、町民に大きな感動を与えてくれたことも記憶に新しいです。

### 体育協会の今後について一言お願いします

一時期二十六団体で組織されていた体協も、現在は二十一団体に減少。今ある団体が衰退することなく、その団体をまとめ、活力ある組織づくりを目指したい。

また、加盟団体には、スポーツ少年団などでの技術指導や大会参加を積極的に取り入れ、底辺拡大と組織の発展を目指すとともに、学校支援団体という認識にたつて、学校との連携を密にし、スポーツの楽しさを伝えていってほしいと思っています。

## 本別町体育協会 大西光夫会長



## Profile

昭和18年 4月20日 夕張市生まれ (67歳)  
昭和56年 体育協会常任理事  
平成元年 本別バレーボール協会会長 (現在に至る)  
平成9年 体育協会理事長  
平成13年 体育協会会長 (現在に至る)



## 加地保良兄弟絵画展

加地保良兄弟絵画展（加地保良兄弟絵画展実行委員会・本別町芸術文化事業振興会主催）が10月1日から7日まで、中央公民館で開催されました。初日は、町内の教え子ら約40人が駆けつけ、オープニングを祝ったほか、期間中場内には、絵画や書道の作品70点が飾られ、多くの人の目を楽しませました。

加地保良さん（清水町在住）

昭和40年4月から6年間美術教諭として本別中学校に勤務。今回の絵画展は、当時の教え子ら有志が企画したものです。



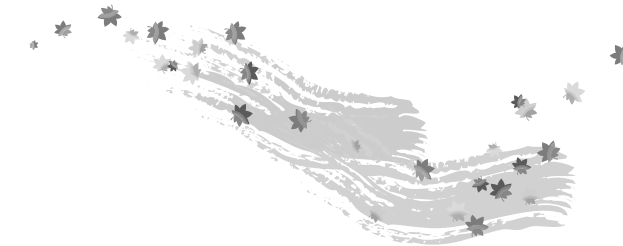
## 十勝地域活動支援センター連絡協議会 スポーツ大会

第11回十勝地域活動支援センター連絡協議会スポーツ大会が9月30日、町体育館で開催されました。今年の競技は、6人一組で100個の玉をバスケットに入れる時間を競う玉入れ。8市町から参加した約200人は、仲間の応援を受けながら懸命にバスケットをめがけ玉を投げ、心地よい汗を流していました。同大会は、十勝管内の障がいを持つ人とその支援者が通う作業所間の親睦と交流を深めることを目的に、毎年持ち回りで開催されているものです。



## 本別中学校強歩大会

毎年恒例の本別中学校（山口弘康校長、157人）強歩大会が9月24日に開催されました。走り組と歩き組に分かれて池田町大森コミュニティセンターをスタートした生徒たちは、本別中学校までの約18kmのコースを、上位を狙い走りぬいたり、楽しみながら歩くなど思い思いのペースでゴールを目指しました。



## 町民ゴルフ大会

第13回町民ゴルフ大会（岡崎勉実行委員長）が10月3日、アリスト本別ゴルフ倶楽部で開催され、腕自慢の87人が参加し親睦を図りながら競技を楽しみました。恒例となっている1打でグリーンに乗らなければ募金するチャリティーホールも設けられ、集まった募金はスポーツ振興基金に寄付されました。成績は次の通り。

優勝＝西村修一      ベストグロス  
準優勝＝三木 哲      男性＝柏崎 浩（76打）  
3位＝小泉勝利      女性＝荒木富士子（74打）



## 高齢者運動会

第39回本別町高齢者運動会（本別町社会福祉協議会主催）が10月2日、町体育館で開催されました。町内12老人クラブから参加した約170人は、4チームに別れジャンケンリレーなど7種目で技と得点を競い合い、さわやかな汗を流しました。



## 本別町音楽祭

第39回本別町音楽祭（本別町文化協会・中央公民館主催）が9月25日、中央公民館で開催されました。音楽祭には、4団体3個人が出演し、アニメソングや歌謡曲など日ごろの練習の成果を披露。美しい音色の演奏に、会場を訪れた父兄や知人など約150人から、たくさんの拍手が送られました。



# 秋

芸<sup>art</sup>術  
文化  
スポ<sup>sports</sup>ーツ

秋といえば、芸術・文化・スポーツ・読書・食欲…と何をすることも過ぎやすい季節。九月上旬までの暑さがうそのように朝晩は冷え込み、山も色づくなど秋らしくなった町内では、様々な催しが繰り広げられました。子どもから高齢者までの幅広い人々が芸術や文化、スポーツにいそしんだ姿を紹介します。皆さんも、この秋から自分のために何か始めてみませんか。



## 本別中学校吹奏楽部定期演奏会

本別中学校吹奏楽部（片桐一成顧問、部員17人）第28回定期演奏会が10月3日、同校体育館で開催されました。3部構成のステージでは、歌謡曲やアニメの主題歌などアンコールを含め11曲が披露され、息の合った演奏に会場を訪れた家族や友人など約80人から大きな拍手が送られました。3年生部員にとって中学校生活最後の演奏会となりました。



## 笑顔で全国大会出場報告

小樽市で開かれた第12回北海道ジュニア陸上競技選手権大会ジャベリックスロー（小中学生版やり投）競技で31m87cmの記録で見事優勝し、10月22日から24日に神奈川県横浜市で開催される第41回ジュニアオリンピック陸上競技大会に出場する仙美里中学校3年の高橋美加さんが10月13日、教育委員会を訪れ全国大会出場の報告をしました。高橋さんは「練習中に出した37m以上の記録を大会でも出せるよう頑張ってきます」と笑顔で抱負を述べ、澤田満教育長は「精一杯自分の力を出してきてください」とエールを送りました。



## 秋 芸術 文化 スポーツ

### 全道大会で健闘

全道駅伝競走大会に出場した本別中学校陸上部の16人と、全道ユース（U-14）8人制サッカー大会道東ブロック大会に出場した同校サッカー部の7人が10月21日、教育委員会を訪れ大会出場の報告をしました。サッカーでは1次リーグを1位通過し2次リーグで優勝。駅伝では女子が1部24位、男子が2部で8位入賞とそれぞれが健闘し、出場した選手たちは「新たな課題に向けて練習に励みたい」「全員でタスキをつなげることができた」「たくさんの方を見て学ぶことができた」などと大会での成果や今後の抱負などを教育長に報告しました。また、10月6日にも全道新人陸上競技大会に出場した本別中学校陸上部の3人が教育委員会を訪れ全道大会での健闘を報告しました。



### 遊・遊ゲームランド

体育の日記念事業「遊・遊ゲームランド」（町教育委員会主催）が10月11日、町体育館で開催されました。館内では、得点を競い合うストラックアウトやカローリングなどの5種目のほか、昔懐かしい竹馬やフラフープなどで遊ぶコーナー、綿あめやポップコーンの縁日コーナーなどが設けられ、会場を訪れた約150人の子供たちはスポーツに触れ楽しいひとときを過ごしました。



## どう 生かす 加工施設

# 本別町農産物加工施設 あり方検討会

## 施設建設へ向け 報告書まとめる

六月三十日に第一回検討会が開催され、「町民にあつて良かったと思われる施設」を目指して進められてきた同会の第五回会議が十月十九日、役場で開催されました。会議では、事務局が四回にわたる検討会や先進地視察、関係機関との打ち合せなどこれまでの経過を説明。続いて、これらを踏まえ、農商工の連携や食育、商品開発、備品の設置などを盛り込んだ「本別町農産物加工施設あり方報告書（案）」を示しました。

委員からは、利用率やコストに対して将来を不安視する声も聞かれましたが、「町民が使つて楽しいと思える施設にしたい」「後世に残せる財産である」などといった夢や希望、町づくりに対する熱い意見が交わされた後、同報告書（案）に一部修正を加えることで承認し、十一月に町に報告することを確認しました。

報告書の内容は、広報ほんべつ十二月号でお知らせします。



## 商品開発と販売

第2回本別町農商工連携育成セミナーが10月22日、中央公民館で開催されました。「ビジネスのきっかけ～売れる商品、売れる商品」をテーマに株式会社NAC商品開発研究所代表の中田哲夫さんが、「地域らしさのストーリー～無印良品マニュアル」をテーマに株式会社良品計画の萩原富三郎さんが講演。講演の中で、



講演する中田さん

中田さんはビジネスには「きっかけ、ねばり、販路が大切」と語り、萩原さんは商品開発の基本は、「生活の基本となる本当に必要なものを、本当に必要なかたちでつくること」と述べ、24人の参加者は商品の販売と開発についてのノウハウについて学びました。



# 秋の交通安全全運動



本別・足寄・陸別の三町交通安全協会主催による「交通安全タスキレ」出発式 9/24

通勤、通学、レジャーなど様々な場面で使われる車。車は便利な反面、一歩間違えば人生を狂わす大きな悲劇を生みます。そんな悲惨な交通事故を一つでも減らそうと、町内では各団体が、日没が早まることによる視界の悪化や農繁期による大型車の走行が増えるなど、交通事故が多発する時期に合わせ、街頭啓発や危険予知訓練などの交通安全運動を実施しました。このような地道な活動の成果もあり、本別町の交通事故死ゼロの記録は、現在千百七十二日目（十月二十五日現在）。この記録がいつまでも更新され、事故のない楽しい毎日を過ごすためにみなさんのご協力をお願いします。



北海道警察音楽隊による演奏とカラーガード隊によるドリル演技 10/10



北海道警友会本別支部（木田弘支部長）  
本別交安友誓会（今野保雄会長）  
9/28



柏木町自治会母の会（澤田京子会長） 9/30

## 交通安全キャンペーン



本別ライオンズクラブ（野田仁会長） 10/14



仙美里小、中学校 10/5



本別町交通安全母の会（田西喜代代表）による「交通安全危険予知訓練」の模擬運転 10/1

# 国民年金

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が送付されます

その103

国民年金保険料について社会保険料控除の適用を受ける場合には、「領収書」または「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」の添付が義務付けられています。

平成22年中に国民年金保険料を納付された人には、控除証明書が11月または翌年2月に送付されます。年末調整や確定申告の際には、控除証明書や領収書が必要となりますので、大切に保管してください。

### 11月に送付される人

平成22年1月1日から平成22年9月30日までの間に国民年金の保険料を納付された人

### 翌年2月に送付される人

平成22年10月1日から平成22年12月31日までの間に今年初めて国民年金の保険料を納付された人  
※11月に送付された場合は、翌年2月には送付されません

国民年金保険料は、**全額が社会保険料控除の対象となります！**

○「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」に記載されている月分以外（未納になっていた前年分あるいは翌年分など）の保険料を12月31日までの間に納付した場合、今年分として申告ができます。「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」に記載されている保険料額に、後から納付した保険料額を合算して申告してください。なお、後から納付した保険料分の「領収書」も添付する必要があります。

○世帯主または配偶者としてご家族の国民年金保険料を納付された場合は、納付した人がその保険料を申告することができます。

詳しくは  
住民課戸籍年金担当へ

0222-8128





# 防

## 身近

などところで発生する火災や犯罪。特に、夏の暑さが去り、過ごしやすくなると同時に、朝晩は冷え込み、日暮れが早くなるこの季節は、ストーブによる火災や空き巣、ひったくりなどの犯罪も心配な時期でもあります。そういった日々の不安が大きくなる中、安心・安全な町づくりを目指し、警察署、消防署、そして地域を挙げての防犯・防災活動が実施されました。自分は大丈夫と思っていませんか。一人ひとりの日ごろからの心掛けが大切です。今一度「防犯」「防災」について考えてみましょう。

# 自分たちのまちは自分たちで守る

## 9/26

### 栄町自治会 自主防災訓練

栄町自治会（高木幸夫会長）が九月二十六日、栄公園で自主防災訓練を実施しました。訓練は、午前十時に震度六強の地震が発生したことを想定し、避難経路や周囲の安全を確認しながら同公園に避難し、班ごとの点呼で安否を確認。救護テントの設置や簡易担架の作り方を確認したほか、初期消火活動としてバケツリレーや消火訓練を行いました。参加した約八十人は、地域住民の連携の大切さや心構え、災害時の避難方法を再確認しました。



## 9/29

### 実践型 防犯教室

北海道警察主催による実践型防犯教室が九月二十九日、本別警察署で開催されました。参加した二十三人は、振り込め詐欺や侵入窃盗、自転車盗難などの道内の現状と手口について説明を受けた後、空き巣などの侵入方法の七〇％を占めるハンマーを使ったガラス破りを体験。年々巧妙化している犯行手口に防犯意識を高めていました。



## 10/8

### 防火 フェスティバル

本別カトリック幼稚園幼児消防クラブ防火フェスティバル（本別消防署主催）が、十月八日に実施されました。参加したはっぴ姿の園児三十三人は、銀河通り商店街で「火の用心をお願いします」と呼び掛けながら防火チラシを配布したほか、河川敷芝生広場では消防自動車の乗車や放水を体験しました。



## 10/15

### 秋の火災予防 運動パレード

秋の火災予防運動パレードが運動初日の十月十五日、午前九時のサイレン吹鳴とともに実施されました。高橋正夫町長が「これからは、暖房の使用が増えてくる時期。市民の尊い命、財産を守るため、予消防やより一層の警防、啓発に努め、無火災に向け支援をお願いしたい」とあいさつ。消防車や本別町危険物安全協会会員の燃料輸送車など十九台が消防署前を出発し、火災予防を訴えながら町内をパレードしました。



## 10/18

### 防犯 キャンペーン

北海道警友会本別支部（木田弘支部長）による全国地域安全運動に合わせた防犯キャンペーンが十月十八日、町内スーパー前で実施されました。会員六人は、買い物客にチラシとティッシュ、ジュース一〇〇セットを「振り込め詐欺に注意してください」などと手渡ししながら防犯を呼び掛けました。





# 「こどもの本・本の町・夢づくりフェスティバル」

## 落語の授業

九月二十六日、中央公民館で「こどもの本・本の町・夢づくりフェスティバル」落語の授業を開催しました。落語をテーマに話す・聞く・思い描く力をはぐくむことを目的に行われ、「ぶつくる落語紙芝居」や「こども落語ライブ」、三遊亭圓窓師匠による、講演会が開かれました。

二十七日には、本別中央小学校で、町内小学校の児童を集め、「落語の授業」を展開し、コミュニケーションの大切さを訴えました。



### 子ども落語ライブ

子ども落語ライブには加藤混己くん（仙美里小五年）、小林春香さん（本別中央小四年）岡本行生くん（仙美里小五年）が、約二〇〇人の来場者の前で、それぞれ、「十徳」「寿限無」「権兵衛狸」を身ぶり手ぶりや表情で描写を表現し、堂々と披露。一席の後には、圓窓師匠から、講評や上達ポイントを伝授され、会場からは、たくさん拍手が送られました。

### 本当のコミュニケーション

「話す・聞く・思い描く力を

育む 落語の授業」と題した圓窓師匠の講演では、現代のコミュニケーションと落語本来の良さについて話しました。

「相手の目を見て話す。相手の目を見て聞くことが本当のコミュニケーションにも通じている。」と話しました。さらに、「笑いだけでなく、人間を追究しているのが落語。子供たちが、落語に触れる機会を作つて」と話し、コミュニケーションは、誰にでもできるお金のかからない良い文化と締めくくりました。

### 対話は大切

九月二十七日には本別中央小学校で、中央小学校の四年生二十九人、勇足小学校の三・六年生二十九人、仙美里小学校の四・六年生二十二人の九十九人を対象に、「落語の授業を開き、子供たちに「話す・聞く・思い描く力を育む」ことの大切さを伝えました。



落語クイズなどを交えながら授業を進め、落語は、相手の目を見て話すように表現されていることを説明。「普段から相手の目を見てしっかりあいさつをすること。大きな声を出して元気に返事をしよう」と子供たちに呼び掛けました。

自身の作品「ぞろぞろ」を披露した圓窓師匠は、児童を高座に上げ、落語の指導も実施。最後に「失敗を怖がらないでやることが大事。積極的に恥ずかしさを忘れていろんなことに挑戦して」とエールを送りました。



## 歴史民俗資料館 本別散歩 秋の本別公園を歩こう

**歴史・文学・自然がいっぱい**

歴史民俗資料館本別散歩「秋の本別公園を歩こう」が十月三日に開催されました。森と川の舎（新津和代表）会員の管野明さんが案内人となり、道の駅ステラ★ほんべつから徒歩で神山を越え、約三時間をかけ本別公園に伝わる義経伝説や植物などについて説明。二十四人の参加者は、文学碑の散策、化石・地層などの自然に触れたほか、最後は参加者全員で新津代表が丹精込めて打った新そばを味わい秋の本別公園を満喫しました。

### 森と川の舎

森と川の舎は、今年5月に「本別公園に残る文化遺産を後世に伝えたい」と新津和一代表を中心に10人で発足した、本別公園の案内や整備などの活動をするボランティアグループ。事務所の元つじそば内には、本別川一帯で発掘された化石や石が数多く展示されています。

- 活動期間** 5月～10月の毎週日曜日  
※案内には予約が必要です  
※日曜日以外でも、会員の都合が合えば案内が可能です
- 事務所** 本別町東町（元つじそば）
- 連絡先** ☎22-5317





# 取り組んでいきますか？ 口腔ケア

要介護状態を予防するためには「運動機能の維持向上」「低栄養の改善」「口腔機能の維持向上」「うつ予防」「閉じこもり予防」「認知症予防」が重要です。町ではこれまで、運動機能の向上や認知症予防などの事業に取り組みしてきましたが、最近口腔やえん下機能が低下している人が増えていくことから、「口腔機能の維持向上」に向けた取り組みをスタートさせています。

町では昨年度、元気いきいき教室や介護予防教室で口腔機能向上に取り組みました。また、今年度は、町の事業として介護予防事業に加えて、介護サービス事業所や家庭訪問等も行いながら口腔機能の維持・改善に取り組んでいます。

口腔機能を維持・改善し、要介護状態になることを予防するためには、日ごろの口腔ケアがとて大切で、各種教室に出られなかった人や、教室に参加した人も、口腔ケアの大切さを再認識してもらうため、今回は口腔機能の重要性やケアの方法についてお伝えします。



「お口の健康」についての講話  
(デイサービスセンターほんべつ)

生活するために重要な働きをするお口

お口は、「食べる」「呼吸をする」「会話をする」「表情を作る」などの働きを持ち、人として生活する上で大変重要な働きをしています。「口の健康」が維持されると、食事をしっかりと摂ることができ、唾液が出て口の中の清潔が保たれたり、正常な満腹感をもたらしたり、肥満を防止したり、脳が活性化したりと私たちの健康や生活に良い影響を及ぼすとされています。

また、年齢とともに飲みこむ機能の低下、唾液の減少などから誤嚥（誤って肺の方へ食べ物や唾液を飲みこむこと）を起こしたり、肺炎を招くことがあります。口の健康を保つことは、美味しく安全な生活を送るための第一歩です。

**注** <sup>えん</sup>誤嚥性肺炎

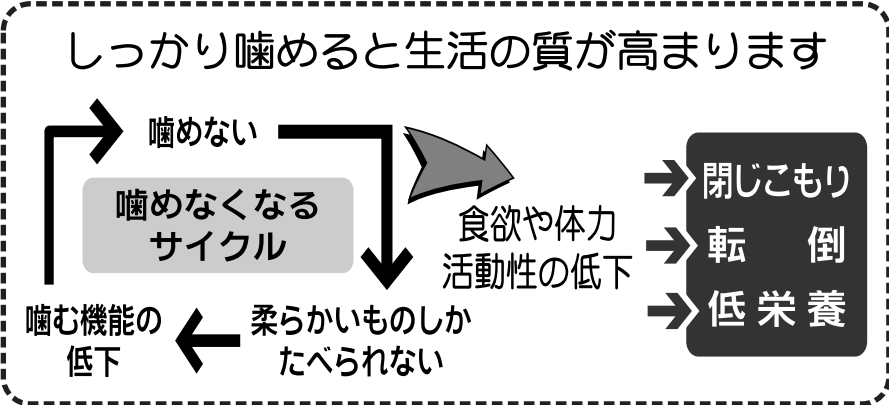
高齢の人にとって肺炎は死亡につながりかねない病気です。誤嚥性肺炎は食べかすなどから繁殖した口の中の細菌を、知らないうちに気道から肺へ吸い込んでしまうことにより起こる肺炎です。このような病気を防ぐためにも、口の中を清潔に保ちましょう。

**こんな人は要注意!**

- ・口腔内が不衛生
- ・かたいものをたべない
- ・人と話す機会がない
- ・よくむせる
- ・歯垢や舌苔がたくさんついている
- ・口の渇きが気になる

## 「口の寝たきり」を 予防しましょう

歯が悪いからといって、柔らかいものばかり食べていたり、外にでるのがおっくうで人と話すことがほとんどなかったり…。このような消極的な行動をとっていると、口腔機能はどんどん衰え、「口の寝たきり」になってしまう危険があります。



## お口の手入れ・口腔の体操を毎日の習慣にしましょう

**口の手入れ**

- ・毎食後、歯を磨く
- ・歯と歯ぐきの境目に歯ブラシの先をあて、時間をかけていねいに
- ・歯だけでなく、舌やほおの内側もきれいに
- ・入れ歯ははずしてみがく

**口腔の体操**

- ①口を閉じたまま、ほおをふくらませたり、すぼめたりする
- ②口を大きく開けて、舌を出したり引っ込めたりする
- ③舌を出して上下左右に動かす

**注** 入れ歯の手入れ

口の中の炎症や細菌の繁殖、口臭を防ぐために、食後と就寝前の入れ歯洗浄が大切です。食後はなるべく時間をおかず入れ歯を取り外して洗いましょう。日中は入れ歯をつけていることをお勧めします。就寝前はきれいに洗ったあとに一晩、水に浸しておき、清潔を保ちます。入れ歯は徐々に合わなくなる可能性がありますので、定期的に歯科医に調整してもらいましょう。

**お知らせ**

11月28日(日)に開催される「いきいきほんべつ ふれあいまつり」において「お口の健康コーナー」を開設します。歯科衛生士による相談やしゃく力テストなどを行う予定ですので、ぜひ、お立ち寄りください。

**介護予防事業における口腔機能向上の取り組み**

町では要介護状態になることを予防するために、基本チェックリストにより心身の機能低下の恐れがある人を対象に、町内四か所での「元気いきいき教室」(通所型介護予防事業)を実施しています。その教室では口腔機能の向上のための取り組みを行っています。また、職員やサービスを利用している人に口腔ケアの正しい知識や手法を身につけていただくために、歯科衛生士が介護サービス事業所を訪問しています。

「むせやすくなった」「固いものが噛めない」など口腔機能について心配なことがあれば、地域包括支援センター(☎2219222)、健康管理センター(☎2212219)にご相談ください。また、介護サービスを利用されている人は、サービス事業所の職員にご相談ください。



# 『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』 に基づく健全化判断比率等を公表します

町のホームページ <http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/> でもご覧になれます

『地方公共団体の  
財政の健全化に関する法律』  
の規定により毎年度地方公共団体の  
決算状況を連結ベースで財政分析する、  
健全化判断比率等の算定および  
公表が義務付けられました。

## 地方公共団体の財政の 健全化に関する法律とは

これまでの自治体再建法では、地方公共団体の普通会計において赤字額が標準財政規模の二〇％（道府県は五％）を超えるといきなりレッドカードが出て財政再建団体となり、イエローカードともいえる注意喚起の段階がありませんでした。また、特別会計や企業会計にいくらか累積赤字があっても財政再建団体とはなりません。

この法律では、「早期健全化」と「財政再生」の二段階で財政悪化をチェックするとともに、特別会計や企業会計もあわせた連結決算により地方公共団体の財政状況をより明らかにしようとするものです。

○財政再生団体（レッドカード）の前に、早期健全化団体（イエローカード）の段階が設けられました

○地方公共団体の本体に公営企業・一部事務組合・第三セクターなども加えて判断するようになりました

○単年度の現金収支に加えて、過去からの累積に基づく基準ができました（将来負担比率）  
○公営企業の経営に関して、経営の健全化を促す基準ができました（資金不足比率）



## 早期健全化団体になると

健全化判断比率指標のいずれかが早期健全化基準を上回ると、財政健全化計画の策定（議会の議決）、外部監査の要求が義務づけられ、計画の実施状況を毎年度議会に公表し、早期健全化が著しく困難と認められるときは知事から必要な勧告が行われます。  
（平成二十年度決算から適用）

## 財政再生団体になると

健全化判断比率指標のいずれかが財政再生基準を上回ると、財政再生計画の策定（議会の議決）、外部監査要求の義務づけ、計画の実施状況の報告、公表に加え、財政再生計画を総務大臣に協議し、同意を求めなくてはなりません（※1）。また、財政運営が計画に適合しないと認められる場合等において、予算の変更等が勧告されます。  
（平成二十年度決算から適用）

※1 同意がなければ、災害復旧事業費等を除き地方債の起債が制限されます

## 経営健全化基準について

早期健全化基準に相当するもので、各公営企業会計の資金不足比率が経営健全化基準を上回れば経営健全化計画の策定が義務づけられます。  
（平成二十年度決算から適用）

## 健全化比率の 一般家庭でのイメージ

私たちの一年間の家計に例えると、日々の生活における収入と支出の状況や、現在の借入金と貯金のバランスを比率化したイメージとなります。

例えば、二世帯住宅で暮らすAさん夫婦世帯（一般会計）、息子さん夫婦世帯（企業会計）を本別町に例えた場合、

### ◆実質赤字比率

Aさん夫婦世帯の一年間の収入と支出の結果、赤字だった場合、その赤字額が家計規模に対してどの位の割合だったのかを表します。

### ◆連結実質赤字比率

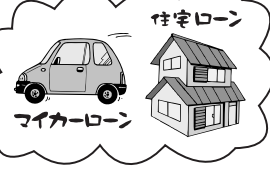
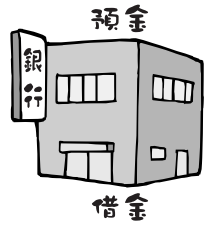
Aさん夫婦世帯、息子さん夫婦世帯の一年間の収入と支出の結果、赤字だった場合、その赤字額がAさん夫婦世帯の家計の規模に対してどの位の割合だったのかを表します。

### ◆実質公債費比率

家族全員の一年間の住宅取得や自動車購入などの借入金返済額のうち、Aさん夫婦世帯が負担した返済額が、Aさん夫婦世帯の家計規模に対してどの位の割合だったのかを表します。

### ◆将来負担比率

家族全員の住宅取得や自動車購入などの借入金残高など、Aさん夫婦世帯が将来負担を予定している費用から貯金を差引いた額が、Aさん夫婦世帯の家計規模に対してどの位の割合だったのかを表します。



## 平成21年度決算に基づく本別町の 健全化判断比率および資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）第3条第1項及び第22条第1項の規定により、本別町における平成21年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率について公表します。

### 1 健全化判断比率

平成21年度本別町各会計の決算に基づき健全化判断比率を算定したところ、下表のとおり、いずれの指標についても早期健全化基準、財政再生基準を下回りました。

指 標	本 別 町		早期健全化基準	財政再生基準
	平成21年度	平成20年度		
実質赤字比率	- %	- %	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	- %	- %	20.0%	40.0%
実質公債費比率	15.6%	17.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	71.7%	79.2%	350.0%	

※実質赤字比率または連結実質赤字比率は、それぞれ赤字額がないため「-」で表示しています  
※連結実質赤字比率の財政再生基準については、市町村は30.0%とされていますが、3年間の経過的な基準が設けられています

### 2 資金不足比率

各公営企業会計における資金不足比率については、平成21年度決算において資金不足を生じた公営企業がないため、該当ありません。

会 計 の 名 称	本 別 町		経営健全化基準
	平成21年度	平成20年度	
水道事業会計	- %	- %	20.0%
国民健康保険病院事業会計	- %	- %	
簡易水道特別会計	- %	- %	
公共下水道特別会計	- %	- %	

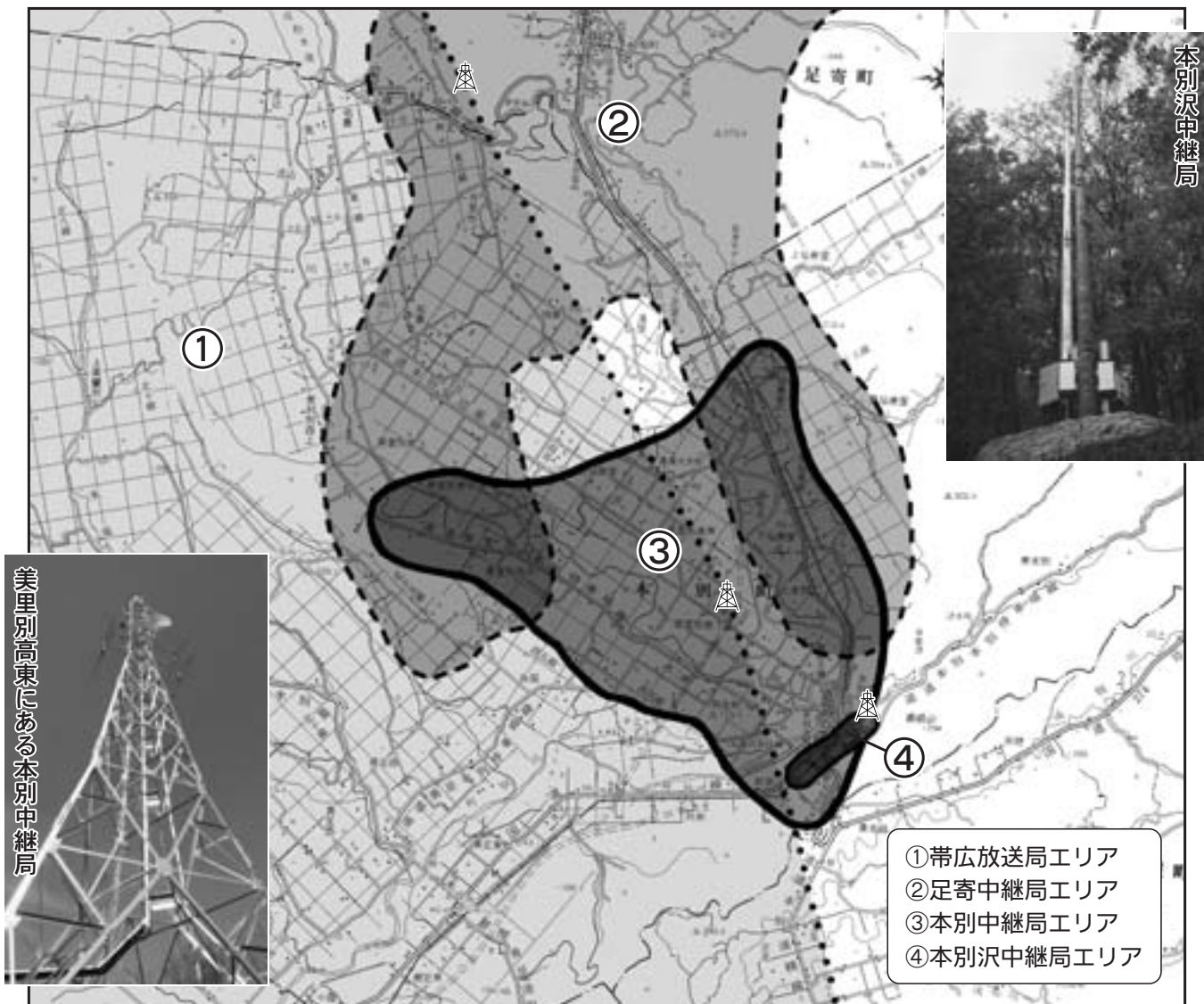
※資金不足比率は、資金不足額がないため、「-」で表示しています。

○健全化判断比率および資金不足比率については、監査委員の審査に付した後、その意見を付して、9月定例町議会に報告いたしました。



# 地上デジタル放送完全移行 2011年（平成23年）7月24日まで あと265日

本町における中継局の放送エリア図 ※放送区域は目安です



## 本別沢デジタル中継局が開局しました！ 地デジ受信の準備 お急ぎください！

アナログ放送は、通常の放送が来年六月末に終了し、七月一日からは放送終了のお知らせ画面が表示され、七月二十四日正午にすべての放送が終了します。本町における中継局のデジタル化は、平成二十年二月の本別デジタル中継局の開局と今年十一月からの本別沢デジタル中継局（主に朝日町、東町、向陽町）の開局により全ての整備が終了しました。この整備により、難視聴地域を除く町内全域での地上デジタル放送が視聴できるようにになりました。



### ●デジタル放送を視聴する場合は

町内の各家庭において、①帯広放送局（音更町十勝川温泉地区）②足寄中継局（足寄町中矢地区）③本別中継局（本別町美里別高東地区）④本別沢中継局（本別町朝日町地区）のいずれかの中継局より電波を受信し、地デジ対応テレビに買い替えるか、地デジチューナーを買い足すなどの対応が必要となります。

### ●本町における視聴エリア

各中継局の放送エリアの目安は左図のとおりですが、エリア外であっても地形などの状況によっては、電波を受信できる場所もあります。またエリア内であっても、地形状況や設置されているアンテナの種類、宅内配線などの受信システムが対応していない場合は、デジタル放送が視聴できないことがあります。アンテナや宅内設備に関する相談は、直接、電気店にご相談ください。

### ●難視聴世帯の対応は

電波状況が悪くデジタル放送を受信できない家庭（難視聴世帯）については、現在整備を進めている光ケーブルにより、デジタル放送を視聴いただくようになります。本町では、これまで難視聴世帯と思われる家庭の調査を進めてきましたが、地デジ化することにより新たに受信障害等でデジタル放送が視聴できない場合は、役場企画振興課までご相談ください。※光ケーブルによりデジタル放送を視聴いただく場合も、地デジ対応テレビに買い替えるか、地デジチューナーを買い足すなどの対応が必要となります。

### ●地デジのことは「デジタルサポート」へ

デジタルでは地上デジタル放送への移行をお手伝いしています。地デジ未対応の高齢者世帯に、戸別訪問による説明やアドバイスも無料で実施しています。地デジでお悩みの人、お困りの人は、「デジタルサポート」へご相談ください。

デジタルサポート（総務省北海道テレビ受信者支援センター）  
☎0154-99-0101  
平日 午前9時～午後9時  
土日祝 午前9時～午後6時

### 地デジ詐欺に注意

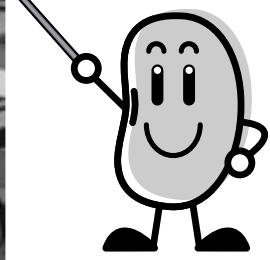
総務省や放送局の担当者を語り、地デジの工事や受信機の設置などの費用をだまし取る詐欺が発生しています。依頼していない工事などには、絶対に料金を払わないよう注意しましょう。※国や放送局が、工事代金などを請求することは一切ありません。

問い合わせ先  
企画振興課企画・生涯学習担当  
☎22-8121



# 第六次本別町総合計画

Part18



新しい本別町のまちづくりの方向性を審議する「第六次本別町総合計画策定審議会（今野公司会長）」の第七回会議が十月十三日、町体育館で開催されました。

同審議会では、事務局が町民アンケートやこれまでの策定審議会での協議結果などを盛り込んだ、新しい基本構想（素案）を示し、その素案に対し活発な意見交換がされました。同審議会で交わされた意見のうち、特に意見の多かったもの二点についてお知らせします。

## 本町の人口について

本別町の人口推計が、平成三十二年には六七四五人（国立社会保障・人口問題研究所推計）になると示されたことについて。

### 出された意見

- 推計人口に合わせた計画づくりが必要では
- 六七四五人はあくまでも推計。そうならないよう、色々な事業を行うような計画づくりを
- 人口が半減するのであれば、事業も大きく縮小する必要があるが、この程度であれば大幅な事業の見直しは必要ないのでは
- 人口の推計は中々難しい。大きな変化があった時点では変更する方法もあるので

## 産業・雇用（仕事づくり）について

○人口の減少も大きな不安ではあるが、一番は雇用の場の確保である。町、JA、そして商工会が一丸となつて雇用の場の確保に取り組まなければならないのでは

### 出された意見

【事務局】素案の中で「本別町の経済を支えるあらゆる産業における積極的な事業活動への支援や創業・起業の促進および地域資源を活用した新産業の創出・育成などを通じて、地域産業の形成・活性化を図り、雇用の場の確保に努めます」とうたっています。この後、基本計画、さらに実施計画には具体的な内容を示していきます。

同審議会は、今後、基本構想（素案）に沿った基本計画（案）の審議を、部会や策定審議会で繰り返し行い、11月中旬をめどに最終審議を終え、計画の答申を行います。



総合計画についての問い合わせ  
企画振興課 企画・生涯学習担当 ☎ 22-8121

各学校の手作りページ

# HELLO 勇足小学校

今年の勇足小学校児童数は43人です。学習や色々な行事に、明るく元気に取り組んでいます。

## 4月8日 入学式



7人のぴかぴかの1年生です

## 5月30日 勇足大運動会。大盛況でした



今年度より「勇足大運動会」として、保育所・小学校・中学校合同の開催となりました

## 7月23日～25日 徳島県小松島市立立江小学校を訪問しました



歓迎 勇足小のみなさん ようこそ夏夏の徳島へ 徳島空港に到着しました



小松島名物 たぬきの前で



立江地区での盛大な歓迎会

# 立江小学校との交流も今年で二十一年目となりました



立江小交流会で記念品の交換です



徳島の夏を体感しました



八幡神社を参拝しました

## これまでの行事から



エトセトラマーケット



河合先生による 歯科指導の様子



交通安全キャンペーン

勇足小学校ホームページのご案内 「勇足小学校だより」<<http://blog.goo.ne.jp/yutari-els>>で検索してください。児童の活動する様子を写真で紹介しています。



## 帯広市本別会観楓会 10/17

帯広市本別会（相澤治会長）恒例の観楓会パークゴルフ大会が10月17日、太陽の丘パークゴルフ場を会場に総勢33人が参加し開催されました。好天に恵まれ、高橋正夫町長ら町関係者、議会議員ら8人とパークゴルフでさわやかな汗を流し楽しんだ後、会場を町内の温泉ホテルに移動し観楓会。相澤会長は「これからも本別とともに会も発展させたい」とあいさつ。パークゴルフでは郡勝雄さんが優勝し、結果発表で大いに盛り上がり歓声が上がっていました。観楓会は、なごやかに食事を楽しみながら思い出話や近況報告などの談笑に花を咲かせていました。



## 平成22年度 防火標語・ポスター入賞者決まる 10/20



本別町防火管理者連絡協議会（三好喜美雄会長）、本別町危険物安全協会（朝日基光会長）は本別ライオンズクラブの協賛を得て、町内の小学校4年生から6年生を対象に防火標語とポスターの募集をし、防火標語に131編、防火ポスター71作品の応募がありました。今年は入賞者全員に、音声機能付きの住宅用火災警報器が贈呈されました。また、防火ポスターの部最優秀賞（防火管理者連絡協議会会長賞）の作品は、防火ポスターとして印刷され町内各事業所に配布し掲示されています。入賞者は次の通り。（敬称略）

### 【防火標語の部】

防火管理者連絡協議会会長賞＝「火を防ぐ!! その心がけ わすれずに」布施あかね（仙美里小6年）  
危険物安全協会会長賞＝「見なおしを 火は消したかな ちゃんと見て」中前友弥子（中央小5年）  
本別ライオンズクラブ会長賞＝「一つの火 二つ三つと 広がるよ」中村 瑠 亜（勇足小）

【防火ポスターの部】 本別町防火管理者連絡協議会会長賞＝佐藤 由 起（中央小6年）  
本別町危険物安全協会会長賞＝塚田 匠（仙美里小5年）  
本別ライオンズクラブ会長賞＝篠原 彩 加（仙美里小4年）

## 元気くんがゆるキャラ選手権に出場 10/11

ばんえい十勝主催の「ゆるキャラ選手権2010」が10月11日、帯広競馬場で開催され、本別町のマスコットキャラクター元気くんが出場しました。1回戦の徒競走では、21体のキャラクターが出場。元気くんは残念ながら7位に終わり、2回戦には進めませんでした。会場では、多くの親子連れと写真を撮るなど、本別町をPRしました。



## 今年最後の夜でかけナイト 9/24

今年最後となる第28回夜でかけナイト（実行委員会主催）が9月24日、北1丁目から北5丁目商店街で開催されました。屋台やゲーム、豪華景品が当たる大抽選会などが催された会場には、友人同士、家族連れなど大勢の人が訪れ、ビールを飲んだり、食事をしたり、思い思いに秋の夜を楽しみました。



## 楽しく運動 10/4

家庭教育支援事業「なかよし」によるちびっこ運動会が10月4日、健康管理センターで開催されました。親子で楽しく運動しようと、会場には31組70人が参加。「かけっこ」や「おやつ競走」など一緒に触れあいながら楽しい時間を過ごしました。



## 農大市 10/17

北海道立農業大学校（鞍懸周校長）が10月17日、恒例の農大市を開催しました。学生が授業で作った、じゃがいもや白菜、牛肉などの新鮮な農畜産物のほか、チーズやアイスクリームなどの加工品が低価格で販売され、町内外からたくさんの買い物客が訪れました。農大市は授業の一環で、地域住民との交流などを目的に毎年開催されています。



## 食べるものを作る 大変さを学ぶ 10/8

札幌日本大学中学校の1年生73人が10月8日、社会見学旅行で本別町を訪れビートや白花豆を収穫する農業体験をしました。参加した生徒たちは、初めての農作業に戸惑いながらも、食べるものを作ることの大変さを実感していました。



## 思い出いっぱいタイムカプセル 同窓会で開封します

私たち2001年度本別中学校卒業生約70人は、2学年だった2000年10月に、10年後に開けようとして校舎グラウンド南側にタイムカプセルを埋めました。10年目を迎えた今年の10月11日、町内外から集まった当時の担任教諭と同窓生ら13人でタイムカプセルを掘り出しました！ 手紙やビデオレターなど、思い出の品々が詰まったタイムカプセルは、来年1月1日に開催される同窓会で開封し披露します！ 同窓会には担任教諭が参加します。久しぶりに先生や友だちと再会し中学校時代の思い出を語り合しましょう。なお、同窓会の日程については、メールまたはハガキでお知らせします。たくさんの参加をお待ちしています!!

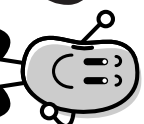
2001年度本別中学校卒業生 梅津 真衣



### 同窓会に関する 問い合わせ

#### 【同窓会代表】

中川拓真 090-5984-5278  
前佛和昭 080-1883-7274





# 未来に輝く 子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星  
たちです。お父さん、お母さん  
のたくさんの愛に包まれてすく  
すく元気に育ってね!



柳町  
宮野下  
愛 (拓美ママ)



南二丁目  
山岡那瑠 (晶子ママ)



仙美里元町  
三川瑛大 (美雪ママ)



柏木町  
新津棕己 (彩花ママ)

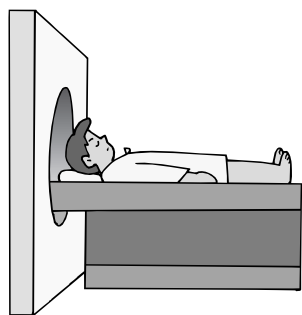


東仙美里  
唯野虎徹 (亜希ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

# みんなの健康

315



みなさんは、三大疾病をご存じ  
でしょうか。「がん」、「急性心筋  
梗塞」、「脳卒中」であり、脳卒中  
以外は人間ドックで危険性を知る  
ことができます。  
しかし、日本人の  
死亡原因の第三位  
である脳卒中は、  
脳ドック単独ある  
いは人間ドックに  
脳ドックを追加しなければ検診す  
ることができません。  
脳ドックは、脳の血管や血液の  
状態などをより細かく検査し脳卒  
中などの疾病やその危険因子を発  
見する  
予防を  
目的と  
した検  
査です。  
当院の  
脳ドッ  
ク検査

## 脳ドックの すすめ

方、血液検査では「異常有り」と指  
摘される人が多く見られます。万  
が一、なんらかの異常が発見され  
たとしても、多くはすぐに進行、  
悪化する恐れのないものです。食  
事や運動などの生活習慣病の改善  
をしつかり行えば、特別な処置を  
しなくても病気の発症を回避する  
ことが可能です。脳卒中は生活習  
慣病と密接に関係していると思っ  
てください。  
本別町国民健康保険病院  
放射線室 副主査 豊岡重年

## 足寄町

第31回  
足寄町女性のつどい

帯広市出身のテノール歌手、小笠原  
一規さんのリサイタルや中村文昭さん  
の講演を行います。どなたでも参加で  
きますので、ぜひご来場ください。

とき 11月28日(日)  
午前10時～午後3時  
足寄町民センター

# 銀河ホップアップダンス

— 足寄町・陸別町から —

内容  
午前10時～開会式  
午前10時30分～講座「小笠原一規  
テノールリサイタル」

午後1時～講演「出会いを活かせ  
ば道は開ける」  
講師 中村文昭さん  
(有クrofネカンパニ  
ー 代表取締役)

午後2時30分～閉会式  
※赤十字バザール、特産品販売コー  
ナーも併せて開催します

参加料 無料  
その他 託児所を設置します。ご希  
望の方はお申し込みください

申込先・詳細  
足寄町教育委員会生涯学習室  
☎2513188

会場  
陸別町タウンホール  
(入場料無料)

その他  
本別町、足寄町、陸別町で  
活動する「詩吟・民謡・民  
舞」の団体が出演します  
お問い合わせ  
陸別町教育委員会内  
芸術祭実行委員会  
☎2712123

陸別町  
平成22年度道民芸術  
祭・第40回十勝管内  
郷土芸術祭

十勝の風土に生まれた芸術文化をお  
楽しみください。  
とき 11月28日(日)  
午後1時開演  
午後0時30分開場

## ご寄付ありがとうございます 平成22年9月21日から10月7日

次の通りご寄付をいただきました。  
紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町老人ホーム指定  
毛布2枚・タオル4本・衣類3点  
……………南2丁目 中田全之助  
タオル30本 本別町赤十字奉仕団 委員長 野村利恵子
- ★本別町スポーツ振興基金指定  
金85,000円… 第13回本別町民ゴルフ大会実行委員会  
実行委員長 岡崎 勉

★本別町指定  
絵画67点・書道1点  
……………東京都 森田親之 他3人

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付  
金1,000,000円 ……………北6丁目 平尾福恵  
〈内訳〉

- ★福祉でまちづくり推進事業 ……金200,000円
- ★日本一の豆を生かした農産物加工体験施設整備事業 金200,000円
- ★自然との共存・環境保全推進事業 金200,000円
- ★資料館特別展「わが町の七月十五日展」開催事業 金200,000円
- ★本のまち・夢プラン事業 ……金200,000円



9月後半から  
10月前半の  
届出分

お誕生

- 唯野 虎徹こつ へい 虎次郎こへい 亜希子あきこ 9/10 東仙美里
- 山岡 那瑠なると 裕幸ゆうき 晶子あきこ 9/14 南1丁目
- 新津 棕しんづ しょう 直哉なおや 彩花あやか 9/16 柏木町
- 渋谷 明日あすな 柳やなぎ 宏ひろ 博美ひろみ 9/21 中央小学校
- 渋谷 友理ともり 奈な 宏ひろ 博美ひろみ 9/21 中央小学校
- 塚林 みなみ 智也ともや 香奈かな 9/30 東仙美里
- 渡邊 心しん 薫かほる 麻紀あさき 10/11 向陽町
- 白山 桃もも 子こ 英明ひであき 美智子みちこ 10/14 清流町

ご結婚

- (原 英樹へい じゅ 北5丁目  
石原 佐和子さわこ 幕別町)
- (加藤 光輝みつあき 北3丁目  
渡部 あけみあけみ 北3丁目)

おくやみ

- 中田 昭子あきこ 82歳 9/28 南2丁目
- 野崎 フジヨふじよ 96歳 9/28 北6丁目
- 野村 ヤイやい 95歳 10/4 北8丁目
- 森山 子ヨこよ 100歳 10/7 錦町
- 長井 袍次ほうじ 88歳 10/7 美里別東中
- 高田 睦むつ 68歳 10/11 北3丁目
- 古川 博ひろ 71歳 10/12 南2丁目
- 野尻 健一けんいち 73歳 10/12 新町
- 工藤 勇ゆう 76歳 10/12 南1丁目

わたしたちのまち

前月比  
人口 **8,425人(-31)**  
男 **4,160人(-18)**  
女 **4,265人(-13)**  
世帯数 **3,927戸(-9)**  
〔9月末日住民基本台帳〕

図書館で人気のある本といえば、貸し出しの多い本(ベストリーダー)と予約の多い本。

予約本は、利用者の皆さんの関心が高く、これからの貸し出しにつながるという意味で、人気のバロメーターになっています。

新刊書の中から、貸出・予約の多い本を紹介します。

『評決』

深谷 忠記・著



同年同日生まれの2人の女性が、19年の時を経て法廷で再会した。一方は裁く側、もう一方は裁かれる側の人間として…裁判員裁判ミステリーというテーマが注目の1冊です。

『往復書簡』

湊 かなえ・著



手紙だからつける嘘。手紙だから許せる罪。手紙だからできる告白…あれは本当に事故だったのか？書簡のみでつづられた連作ミステリー。著者の発表する作品はすべて、よく読まれています。

秋の夜長は、ミステリーの世界を旅してみませんか？

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称:ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112